

臨床工学部 初期研修プログラム(1年目) 全体目標:部門の役割を理解し組織の一員として業務を実践する

令和元年10月11日作成

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
目 標		●社会人・職業人としての基本的態度について理解し実践出来る ●地方公務員としての自覚を持つ ●臨床工学技士の職業倫理・臨床工学技士法・医療法・薬事法等の関係法規等の理解を深める	●適切なタイミングで報告・連絡・相談が出来る ●スタッフ・患者とコミュニケーションがとれる					●技術チェック表から未経験項目を抽出し実施できるようにする					●1年を振り返り次年度の課題を見つけることができる
集合教育	研修内容	●新規採用者研修 ●電子カルテ ●透析機器操作(透析準備が出来る)	●適切なタイミングで報告・連絡・相談が出来る ●スタッフ・患者とコミュニケーションがとれる ●院内保有機器の把握	●透析センター業務・MEセンター業務を担当指導者と一緒に行う				●透析センター業務・MEセンター業務を一人でおこなう。(担当指導者が確認する。)	●医療技術部門合同研修会				●医療機器保守管理・透析センター業務が行えることが確認できたら、2年目からは循環器・手術業務に入る。(到達度に応じて検討する)
職場内教育	指導内容	●採用時部門研修 ●透析センター業務内容・流れを知る ●電子カルテの基本的操作ができる ●透析回路の組み立て	●防火訓練 ●急変時対応		下記の業務を開始する ●MEセンター業務 ●輸液ポンプ等定期点検 ●高気圧酸素療法業務 ●残り番業務		下記の業務を追加する ●通常より定員1名増で土曜日・祝日勤務を体験する		下記の業務を追加する ●早番業務(状況確認) ●遅番業務(状況確認)	下記の業務を追加する 通常定員で土曜日・祝日勤務を開始する。(月1回程度)	下記の業務を追加する ●手術室業務		
	指導方法	●実践の見学を行い新人担当スタッフとペアで行う ●座学を適宜行い基本的な根拠を理解させる	個人用業務チェックファイルを用い、新人担当スタッフ(または当日指導したスタッフ)が評価する(毎日)				担当者と一緒にいき、習得状況を確認する。		担当者と一緒にいき、習得状況を確認する。		担当者と一緒にいき、習得状況を確認する。		
	評 価	【所属長】 ●面接 主任会議で育成状況を確認し、次のミッションに進むことが適切か評価する。(毎月1回)						【所属長】 ●中間面接	【所属長】 ●中間面接			【所属長】 ●評価面接	【所属長】 ●評価面接 主任会議で育成状況を確認し、次のミッションに進むことが適切か評価する。

臨床工学部 初期研修プログラム(2年目) 全体目標:部門の役割を理解し組織の一員として業務を実践する

令和元年10月11日作成

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
目 標		●部門スタッフとして全ての業務を経験し、宿直が出来るようになる ●待機業務を行い、責任感を持ちながら緊急業務に24時間対応する ●1年目の復習を行いつつ、新しい業務を習得する ●ICU業務を一人で行う						●技術チェック表から未経験項目を抽出し実施できるようにする					●1年を振り返り次年度の課題を見つけることができる
集合教育	研修内容	●循環器業務を担当指導者と一緒に行う ●手術室業務(人工心肺業務)の外回り業務を担当指導者と一緒に行う ●穿刺業務を行う							●医療技術部門合同研修会				●透析・機器管理・手術・心カテのローテーションが行えることを確認できる。(到達度に応じて検討する)
職場内教育	指導内容	●待機業務開始 ●循環器業務開始 ●人工心肺業務開始 ●穿刺業務開始											●来月から当直開始
	指導方法	●実践の見学を行い新人担当スタッフとペアで行う ●座学を適宜行い基本的な根拠を理解する											
	評 価	【所属長】 ●初回面接(目標設定面接) 個人用業務チェックファイルを用い、当日指導したスタッフが評価する	【所属長】 ●初回面接					【所属長】 ●中間面接					【所属長】 ●評価面接